

# いさーち

日立市教育研究所報 308号  
 令和4年3月23日発行  
 〒317-8601 日立市助川町1-1-1  
 日立市教育研究所長 皆川 渉

## 令和3年度 教育研究所の事業報告

### 調査研究に関する事業

研究報告書第179号「使おう！活かそう！GIGA 2021～日立市 ICT 利活用ブック～」は、日立市教育課題調査研究会議研究員が本年度実践した、ICTの利活用の様子についてまとめています。実践に際しては、ICTを利活用すること自体が目的化しないよう留意するとともに、ICTの利活用によって、全ての児童生徒の可能性を引き出す教育の実現を目指しました。「個別最適な学び」と「協働的な学び」、「対面授業などのこれまでの教育のよさ」と「ICTを利活用していくこれからの教育のよさ」を掛け合わせていくことで、「学びのハイブリッド化」が実現し、誰一人取り残すことのない、「ひたちらしい教育」につながると考えます。

「コロナ禍だから」ではなく「学びを深めていくため」に、そして必要感をもって自らタブレット端末を開く児童生徒の姿を増やしていくために、この一冊が先生方の今後の実践の一助となれば幸いです。



小学校 2年 生活科 「もっとなかよし まちたんけん」 発表の補助

単元目標

- 地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活が地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々の活動に寄せる思いに気付くことができる。
- 地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見つかることができる。
- 地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に関わり、安全に生活したりしようとしている。

単元計画

- (1) まち探検の計画を立てる。
- (2) まち探検に行き、地域の人にインタビューをしたり、写真を撮ったりする。(写真①②)
- (3) キューブキッズ(プレゼンテーション機能)で、地域のよさをまとめる。(写真③④)
- (4) 作ったプレゼンテーションを使って、発表する。(写真⑤)  
(児童が作成したプレゼンテーション) (写真⑥)

授業の様子

- (1) 「キューブキッズ」(カメラ・プレゼンテーション機能)
- (2) まち探検中に、気付いたことを写真や動画に撮る。  
・プレゼンテーション機能を使って、発表する。
- (3) まち探検中に、気付いたことを写真や動画に残すことで、活動を振り返りやすかった。  
・はじめは手書き機能を使って文字を書き込んでいたが、ローマ字を配列すると、ほとんどの児童がローマ字入力をするようになった。  
・文字や写真だけではなく、素材などを利用して、プレゼンテーションをわかりやすくしようとする姿が見られた。  
・自分で撮った写真を発表で使ったり、伝えたいことを視覚的に表すことができた。

① 紹介したいものを撮影
② 紹介したいものを撮影
③ 素材庫から素材を選ぶ

④ 地域のよさをまとめる様子
⑤ 木取り会を紹介する
⑥ 児童のプレゼンテーション

**2 こんな利活用をしています！小学校**  
(含 特別支援学校 小学部)

授業場面で、生活場面で…。一日の中の各場面での利活用を時刻表にまとめました。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。  
※授業場面：緑 生活場面：オレンジ オンライン学習：水色

	月	火	水	木	金
朝	【朝の会】 スピーチ P36	【朝自習】 E3&E	【オンライン朝の会】 しりとりに、クイズ等 P42～43		
1 2	【授業での利活用】P7～17		【オンライン学習】		
3 4	【体育】 跳び箱 運動 P36	【休活動】 活動の記録 P37		【オンライン学習】 P42～43	
5 6	【生活単元学習】 P40	【学校行事】 創立記念集会 P37			
放課後 等	【保護者面談】 資料作成・共有 P41	【職員研修】 資料共有 P41	【特活】 自宅学習振り返り P37		

【R3年度報告書表紙】

【こんな利活用をしています！小学校】

【授業での利活用「生活科」】

本報告書は4月に市内の各小・中・特別支援学校に配布予定です。また、本報告書のデータを、校務支援システムの「書庫」に格納します。どうぞご参照ください。

教育研究所では引き続き、プログラミング教材(LEGO WeDo2.0/micro:bit)の貸出しも行っております。授業や校内研修等に、是非ご活用ください！

## 教職員の研修に関する事業

教育研究所では、今年度も教職員のニーズに応じた様々な研修会を開催しました。毎年多くの先生方に参加していただいておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上での実施としたため、参加者の先生方には様々な御協力いただきました。改めて御礼申し上げます。今年度開催した研修については、以下のとおりです。

実施期日	研修会名	参加人数	○テーマ ・講師
令和3年 4月2日 (金)	初任者研修会	28名	○本市の学校教育方針 他 ・教育長、学務課長、指導課長等
6月22日 (火)	第1回特別支援教育研修会	48名	○特別支援教育コーディネーターの役割 ○保護者や関係機関との連携の仕方 ・木村重文、須藤貴志（日立特別支援学校コーディネーター）
7月21日 (水)	【共催研修】 幼稚園・こども園 学級経営研修会	34名	○一人一人の幼児が、発達に必要な経験を 重ねながら育ち合うための援助の在り方 ・倉橋久美（日立市教育委員会指導課指導主事） ・武藤享子（日立特別支援学校）
7月26日 (月)	【共催研修】 幼稚園・こども園 実技研修会	30名	○日常の保育に活用できるリズム遊びやゲーム ・久保花音（ダンスインストラクター）
7月28日 (水)	教師力パワーアップ講座 (教育論文)	12名	○初めての教育論文 ・皆川渉（日立市教育研究所長）
	一般教養研修会 (先生の働き方改革)	41名	○自分らしい暮らし方、働き方を考える ・方波見真弓（県ダイバーシティ推進センター）
7月29日 (木)	教師力パワーアップ講座 (配慮を要する児童生徒への教育)	18名	○アセスメントから始まる支援 ・深谷佳子（臨床心理士・公認心理師）
8月2日 (月)	一般教養研修会 (ネット・ゲーム依存の実態と予防・対応)	34名	○現代の子どもたちとネット・ゲーム依存 ・菊池智之（県精神保健福祉センター）
	【共催研修】 道徳科指導法研修会	44名	○道徳科の授業づくり ・小川哲哉（茨城大学教授）
8月4日 (水)	幼児教育と小学校教育の 接続のための研修会 (オンライン)	59名	○保幼小の連携・接続に向けて ・神永直美（茨城大学教授）
8月5日 (木)	夏季社会科実技研修会	30名	○新聞の秘密を学ぼう ・城石和秀（日立市教育委員会指導課指導主事） ・茨城新聞社 NIE 事務局
	教師力パワーアップ講座 (プログラミング教育及びICT機器を活用した授業改善) (オンライン)	38名	○プログラミング教育及びICT機器を活用した授業改善 ・中村めぐみ（つくば市教育委員会情報担当指導主事）

10月12日 (火)	第2回特別支援教育研修会	44名	○みとりからの支援～WISC検査を中心に～ ○みとりを支援にいかす ・木村重文、須藤貴志（日立特別支援学校コーディネーター）
10月30日 (土)	第1回発達障害の理解と支援研修会	44名 保護者含む	○「発達が凸凹な子どもたちの理解と対応について」 ～行動の背景と支援のあり方（合理的配慮）を考える～ ・乾孝之（北茨城市心の教室相談員）
12月4日 (土)	不登校に関する研修会 (オンライン)	29名 保護者含む	○学校や集団への不安・混乱の背景とそのアプローチ ・川上康則（東京都立矢口特別支援学校 主任教諭）
12月19日 (日)	第2回発達障害の理解と支援研修会（オンライン）	66名 保護者含む	○特別な支援を必要とする子どものコミュニケーションと感情のコントロールを育むための個別的な配慮と支援の工夫 ・吉井勘人（山梨大学 准教授）
令和4年 1月6日 (木)	QU活用研修会	42名	○学び合う授業を支える学級集団づくり ・武子みち子（早稲田大学河村茂雄研究室所属 学級経営アセスメントQU専門家派遣講師）



【初任者研修会】



【特別支援教育研修会】



【一般教養研修会（先生の働き方改革）】



【教師パワーアップ講座（プログラミング教育）】



【発達障害の理解と支援研修会】



【QU活用研修会】

## 教育相談に関する事業 適応指導教室 ちゃれんじくらぶ

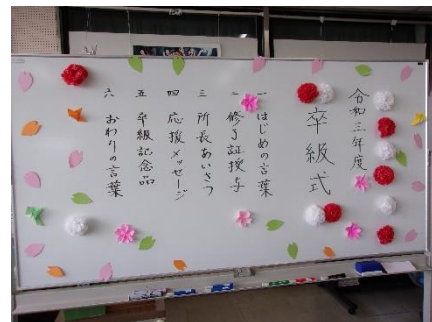
「海岸ハイキング」  
初夏の会瀬海岸で、釣りやシーグラス拾いをしました。



「歴史・動物ふれあい体験」  
郷土博物館で火起こし体験、かみね動物園で動物見学をしました。



「卒級式」  
卒級する中学校3年生をお祝いしました。今後の活躍を応援しています。



## こども発達相談センターに関する事業 小集団活動「なかよし教室」

「視覚支援」  
活動の流れやルールを分かりやすく提示しています。活動後は、花丸シールで達成感を得ました。



「紙コップタワー」  
色のついた紙コップを手本カードと同じように並べます。概念分け、友だちとの協力などがねらいです。



「自由遊び」  
自由遊びは、活動で学んだことを発揮する場として有効です。「入れて」「いいよ」「貸して」等、友達とのやりとりもできるようになりました。



## 編集後記

コロナ禍となり、約2年が過ぎました。先生方の御努力・御尽力により、「感染症対策下の学校生活」が定着し、安心・安全を確保した上での学びが進んでいます。

今年度の教育研究所の事業も、感染症対策をした上での実施となったものが多くありました。しかし、先生方の御理解・御協力により、ほぼ予定通り事業を実施することができました。改めて御礼申し上げます。

梅から桜へ、令和3年度も残りわずかとなりました。様々な思いが入り混じる季節ですが、目の前のお子さんたちの成長を喜びながら、先生方の毎日が充実することを、心より願っております。

1年間、本当にありがとうございました。(會沢)